

人文学部卒業研究

題 目 障がい者と女性に優しい企業とは

指導教授 三摩 真己

印

提出年月日 2018年 12月 14日

学籍番号 HI12034

氏 名 杉田 雄哉

『障がい者と女性に優しい企業とは』（共同制作）

HI12034

杉田 雄哉

要旨

この作品は、春日井市八田町にある物流会社のホンダロジコム株式会社（以下、ホンダロジコムとする）の障がい者雇用、きくらの新たな商品開発、女性が働きやすい職場、産学連携の取り組みに焦点を当て、ホンダロジコムの企業紹介をするのが目的である。

私の友人に障がい者がいて、障がい者雇用について話を聞いたことがある。障がい者雇用に興味があった私は、地元春日井市のホンダロジコムが、障がい者雇用に積極的に取り組んでいることを知った。この会社から連携の話があり、障がい者が作りきくらの農園の規模拡大と販路拡を目指すクラウドファンディングに映像制作で協力することになった。また、きくらを使ったパスタのペペロンチーノソース・ミートソースなど新商品の開発も中部大学が担った。さらにこの会社は女性社員の働きやすい環境づくりにも取り組んでいるという。

今年は官公庁の障がい者雇用の水増しが全国規模で明らかになった。法定雇用率を守れない企業も多いという。また待機児童の問題など女性が働きやすい環境というものなかなか実現していない実態があるのではないか。この動画の作成によって多く方にホンダロジコムの取り組みを知ってもらいたいと思いこのテーマの映像作品を制作することにした。

副論文の構成は以下の通りである。第1章ではまず、なぜこのテーマでこの会社の紹介映像を作ろうとしたのかを記述している。第2章では、障がい者雇用の難しさや子どもを持つ女性社員の働く環境について記述している。第3章では、映像制作作品の構成を記し、映像の場面ごとの説明や補足、インタビュー内容などを字起こした。第4章では、撮影期間を振り返り、撮影する上で、苦労したこと、工夫したこと、学んだことなどを述べた。第5章では撮影期間約2～3ヶ月、総撮影時間3時間40分以上に及ぶ映像を映像作品にまとめる編集作業で、苦労したこと、工夫したこと、そして学んだことをまとめた。

キーワード

障がい者雇用・働きやすい環境・国産きくら・新たな商品開発・産学官の連携

目次

1. なぜこのテーマを選んだのか	1
2. ねらい	2
3. 構成	
3. 1 アバン	2
3. 2 タイトル	3
3. 3 会社概要	3
3. 4 社長インタビュー	3
3. 5 物流センター	3
3. 6 春日井ファーム	4
3. 7 中部大学との連携	4
3. 8 女性に優しい会社	5
3. 9 まとめ	6
4 撮影を通して	
4. 1 撮影を通して気を付けたこと	6
4. 2 撮影を通して学んだこと	6
5 編集を通して	
5. 1 編集を通して気を付けたこと	7
5. 2 編集を通して学んだこと	7
【参考WEBサイト一覧】	7
付録1 構成表	i
付録2 台本	xiii